



にほんぶんかきょうしつ  
日本文化教室 No.12

国際教育センターでは、外国人留学生が日本の伝統文化に直接触れ、日本への理解をより深めることを目的とし、2003年度から日本文化教室を実施しています。日本人学生も参加し、外国人留学生と日本人学生と一緒に日本文化を体験することで、相互交流を図るとともにグローバルな視点を身につけてほしいと願っています。

いばなきょうしつ  
生け花教室

Ikebana Class



こうどうきょうしつ  
香道教室

Kodo Class



きよもの教室  
きもの教室

Kimono-Wearing Class



グローバル時代は言語と文化を越え、世界の人々が共生することが求められる時代です。国際教育センターも留学生と日本人学生のみなさんがお互いの言語と文化を理解し、共生できるようになるためのお手伝いできればと考えています。

この日本文化教室も、日本の文化について単なる知識ではなく、実践を通して理解することができるよう、実施しているものです。最近では学内の部・サークルの協力も得て、交流的な意味合いも加味しながら実施されています。そこには単に文化の理解だけでなく、言語と文化を越えた協働の促進と共生の実現といった願いが込められています。

この冊子はこれまでの活動を紹介したものです。一人でも多くの留学生のみなさんに参加してもらえればと思っています。みなさんのご参加を心からお待ちしています。

# 生け花教室

## 生け花教室

生け花（華道）は、16世紀ごろから盛んになった日本の伝統的な芸術の1つです。自然の花を使って天（宇宙）、地（地球）、人の3要素をバランスよく表現する、という考え方が基本です。しかし、いけ方は華道流派によって異なります。

国際教育センターでは、2004年度から生け花教室を始めました。毎回、その季節のお花を使って基本的ないけ方を先生から教えてもらいます。また、上級者用の花材で先生が応用編をご披露して下さったり、参加者にも大変好評な教室です。



ぜんこうき  
前・後期



講師 赤池房子（柳華）先生

### ●プロフィール

現在、財団法人小原流本部 副教務、川崎支部 支部長。結婚を機に、義母が華道教授だったことから華道を始め、約45年。本学華道部の講師などを含め、長年にわたり華道に携わっている。  
趣味 ちぎり絵、旅行、読書。

### ★講師の先生にインタビューしました！

Q：華道の魅力を一言でいうと何ですか。

A：色彩的な調和や対比の美しさを表現したり、季節感をふまえて対象とする空間を虚構をまじえて表現すること。

Q：留学生に日本文化を紹介する意義は何ですか。

A：皆様がそれぞれの国に帰り、生け花の事を話題にして頂けることです。

Q：参加者の作品はどうかですか。

A：初めて体験して活けたのを見て、とてもセンスのある様に見うけました。

Q：参加者の印象はどうかですか。

A：皆様がとても楽しそうに活かしているので教えていて“ホッ”とします。

Q：教えてみて難しいと感じる点は何ですか。

A：一回だけの指導なので、内容的に理解してもらえたかどうか疑問です。

Q：教えてみておもしろいと感じる点は何ですか。

A：それぞれとても個性のある活け方をするので感心します。

Q：この文化教室の魅力は何ですか。

A：色々な国の方々と会話が出来る事です。

Q：今後この文化教室で挑戦してみたいことがあれば教えてください。

A：花材もいろいろ取り揃えて各自好きに活け、それぞれ講評しあってはと思います。

Q：華道に関するおすすめの本や、サイトがあれば教えてください。

A：書籍 梅のいけばな 小原流いけばな双書4  
小原流出版事業部  
小原流いけばな基本マニュアル 小原流いけばな双書13  
小原流出版事業部  
月刊誌 挿花  
隔月刊誌 桔梗  
WEB いけばな小原流  
<http://www.ohararyu.or.jp/>

とうじつ ようす  
当日の様子

当日の様子



さいしょ いばな せんせい  
最初に生け花について先生が  
せつめい くだ  
説明して下さいます。



せんせい いっしょ いはじ  
先生と一緒に活け始めます。



ひとりひとり ていねい おし  
一人一人に、丁寧に教えて  
くだ  
下さいます。



さいご せんせい おうようへん ひろう  
最後に先生が応用編を披露  
してくだ  
下さいます。



「かたむけるかたち」にも挑戦  
します!



「たてるかたち」が出来上がり  
ました。

さんかしゃ こえ  
参加者の声



せい か しんせん おもしろ  
初生花なので、とても新鮮で面白  
かったです! 自分が生花を生けら  
れるとは思わなかったんです。  
せんせいがた やさ せい か れき  
先生方も優しいですし、生花の歴  
し い かた ていねい せつめい  
史や生け方とかをご丁寧に説明し  
ていただいてありがとうございました。  
ほんとう さんか  
す! 本当に参加してよかったです!  
すごい良い思い出になりました~!あ  
りがとうございます~~



せんせい まな せんせい はなし  
先生について学び、先生から話を  
き すば かのじょ じぶん  
聞くのは素晴らしく、彼女が自分で  
アレンジメントをするのを見るのは  
みりよくてき  
とても魅力的でした。とても楽し  
かったです、ありがとうございました!  
たの



# きもの教室

## きもの教室

和服はここ数百年全く形が変わっておらず、日常着としての機能はほとんど失われてしまいました。しかし、最近では和の美として見直され、若い人々のあいだで人気が復活しています。

国際教育センターでは、2005年から着付け教室（現きもの教室）を始めました。前期は名古屋帯と浴衣、後期は名古屋帯を使った着付けを通して、日本の伝統文化を体験しています。日本人・外国人からの留学生を問わず、例年希望者が多いため、とてもにぎやかな教室です。



ぜんこうき  
前・後期



こうし が べけい こせんせい  
講師 我部敬子先生

### ●プロフィール

中学の時に叔母から茶道を習い始め着物好きに。その後茶道は中断してしまいましたが、装道きもの学院で着付けを習得。着付け教室を開き40年になる。他に婚礼や写真館、CM撮影などの着付け業務にも携わる。お茶の水女子大学地理科卒。お茶大着付け同好会講師。著書『衣の歳時記』東京四季出版。趣味は俳句、歌を歌うこと。

### ★講師の先生にインタビューしました！

Q：お茶大在学時はどんな学生でしたか。当時留学生との交流がございましたら、ぜひお聞かせください。

A：地方出身者でしたので、憧れの東京の生活に興味津々でした。色々なことを吸収したいと思い活動的な生活を送っていました。海外からの留学生の記憶はなく、復帰前の沖縄の留学生が寮にいらして挨拶を交わすくらいでした。

Q：先生はいつ頃、なぜ着付けを始められましたか。

A：30代初めに通ったきもの学院の授業が面白く、自分が着るだけでなく、人に着せたい、着物のことをもっと勉強したいと思いました。

Q：着物に惹かれた理由は何ですか。

A：子供のころから裂地が好きでした。着物の長い歴史を考えれば当然ですが、着物には日本文化の繊細な美意識が集約されています。染め、織、刺繍などの高度な技術、帯や小物のコーディネートによって季節を感じられるところが魅力です。

Q：着付けを教えていて大変だったエピソードをひとつ教えてください。

A：エピソードは思い浮かばないのですが、着物はただ纏うのではなく、体の中心に合わせていくことをイメージできるようにするまでが大変です。背中心や襟合わ

せがずれなくなるまで辛抱強く見守ることでしょうか。

Q：着付けを教えていて嬉しかったエピソードをひとつ教えてください。

A：留学生の教室では、初めての着物に奮闘して綺麗に仕上げ、笑顔がこぼれる瞬間が嬉しいです。同好会の学生では、卒業式に自分で袴を着たいと決めて一生懸命練習して、上手に着られるようになった姿を見ると、よくここまで頑張ったなと感激します。

Q：留学生の皆さんに向けて伝えたい、着物や浴衣の良さは何ですか。

A：着物は日本の民族衣装ですがどの国の方が着ても似合う衣服です。形は同じでも、柄や色のバリエーションは無限と言ってもいいくらいです。機会があれば是非お気に入りを見つけ、着て楽しんでください。

Q：最後にメッセージをお願いします。

A：着物は日本では衰退の一途を辿っていましたが、外国の方の着物に対する評価によって、新たな価値が生まれてきているように思います。文化の交流は本当に大切で、留学生の皆さんもお国に帰って着物のことを伝えてください。そして留学生の方の故国の民族衣装も私たちに紹介してください。

とうじつ ようす  
当日の様子

とうじつ  
の  
ようす  
の様子



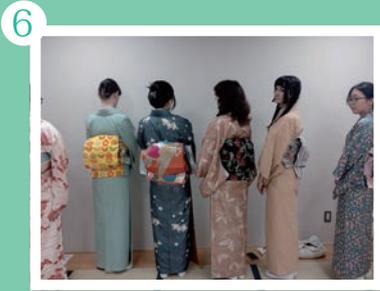
さいしょ きもの れきし について せつめい  
最初に着物の歴史について説明を受けます。



せんせい しどうのもと、ひとつずつ  
先生のご指導のもと、一つずつ帯を締めていきます。



むずかしいところや後ろ側は先生が  
難しいところや後ろ側は先生が手伝ってくださいます。



ふじ きつ かんせい  
無事に着付けの完成です。



さいご せんせい  
最後は先生がきれいに整えてくださいます。



おびむす しあげ  
帯結びの仕上げです。

さんかしゃ こえ  
参加者の声



じぶん きもの き きてみたのははじめてで、  
自分で着物を着てみたのは初めてで、  
にほん じょせい すご おも  
日本の女性は凄いとと思いました！



きれいな きもの き するすばらし  
綺麗な着物を着る素晴らし  
い けいけん  
い経験になりました。あり  
がとうございます。



きもの き ほうほう さいしょ まな  
着物を着る方法を最初から学ぶこ  
とができるうれ  
うれ  
うれしかったです。



# 書道教室

## 書道教室

書道は、筆と墨で文字を書く芸術です。もともと中国から伝わったものですが、日本では漢字に仮名文字を組み合わせて独自の発展をしました。現代では日常生活で筆を使うことは多くありませんが、小学校の授業や習い事といった形で人々に親しまれています。

国際教育センターでは、2003年度後期より書道教室が開かれています。基本的な練習の他に、前期は色紙に、後期は長い紙に書く書き初めにも挑戦しています。



### ぜんこうき 前・後期



講師 赤木美香先生

#### ●プロフィール

書道教室を開いている書家の叔母の影響を受け、5歳で書道を習い始める。師範の資格を持っており、国際教育センターの書道教室を担当している。趣味は、クラシック音楽演奏と鑑賞、特にバッハが好き。それから食べること。

### ★講師の先生にインタビューしました！

Q：書道の魅力を一言でいうと何ですか。

A：集中した時間の中で、お手本（文字）に対し忠実に点画の細部までこだわり書くこと。

Q：留学生に日本文化を紹介する意義は何ですか。

A：書道を通して、日本文化を知ることにより、異なる文化で育った自分（留学生自身）とも向き合うことが可能です。

Q：参加者の作品はどうですか。

A：基本点画をしっかりと押さえても、縮こまらない、伸びやかな作品です。

Q：参加者の印象はどうですか。

A：研究に打ち込む姿勢と似ていると思いました。お手本の文字を理解し、解釈をした後に書き出す作業は、論文執筆と異種同類だと思っています。

Q：教えてみて難しいと感じる点は何ですか。

A：正しい姿勢で呼吸を取りながら書くと良い作品ができますが、それはとても難しいです。

Q：教えてみておもしろいと感じる点は何ですか。

A：国により、漢字の受け止め方が異なるところと、テーマ選択が斬新で、新鮮です。

Q：この文化教室の魅力は何ですか。

A：いろいろな国の人が、書道を通して、理解、評価し合ったりできることだと思います。

Q：今後この文化教室で挑戦してみたいことがあれば教えてください。

A：臨書（歴史上に古典として残る名筆を模倣すること）やTシャツに作品を書くなどです。

とうじつ ようす  
当日の様子

とうじつ  
の  
ようす  
の様子



せんせい ふで つか かた おし くだ  
先生が筆の使い方を教えて下さいます。



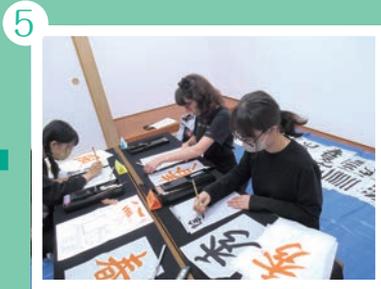
き ほんてき か かた ほんし れんしゅう  
基本的な書き方を半紙で練習します。



せんせい てほん す  
先生のお手本をみながら、好きな文字や言葉を書きます。



さいご せいしょ さくひん かん  
最後に清書をして、作品が完成！



れんしゅう  
たくさん練習しました。



しんけん ひょうじょう と く  
真剣な表情で取り組みます。

さんかしゃ こえ  
参加者の声



しょうがくせい い ごほじ しょうどう  
小学生以後初めての書道でしたが  
せんせい ほんとう やさ おし  
先生も本当に優しく教えてくれて  
ありがとうございました。



す かんじ か  
好きな漢字を書くことができ  
うれしいです♡ありがとうございます  
います！



アルファベットのカリグラフィー  
もしたことがない私は書道が初め  
てでした。自分で「春」という漢  
字が書けたのでこれから「春」に  
ついて思ったら、季節だけではなく、  
書道の体験も思い出していく  
はずです。字を書くとき気持ちが良  
くなるのを気がついたので、また  
書道ができたら嬉しいです。

# 茶 道 教 室

## 茶 道 教 室

茶道は、茶を通して礼儀作法を修める道です。ただお茶を点てるのではなく、建築、工芸、生け花、料理などと結びついた総合芸術といわれる奥の深い世界です。表千家を中心に42流派ほどありますが、学んでいる人数が最も多いのは裏千家です。

国際教育センターでは、お茶の水女子大学の裏千家茶道部のご協力を得て、茶道教室を2011年から始めました。庭園の中に建つ伝統的な茶室で行われるため、本格的な茶道体験ができると好評です。



### ぜん こう き 前・後期



講師 吉田啓子 (宗風) 先生

#### ●プロフィール

裏千家茶道 正教授。

祖母、母が裏千家茶道に修道していたこと、また茶道の奥深さに興味を持ったことから習い始め、約16年。

趣味 読書、映画鑑賞など。

### ★講師の先生にインタビューしました！

Q：茶道の魅力を一言でいうと何ですか。

A：茶道は、日本の総合文化です。また、茶道を学ぶことでよりよく生きるための道筋が示されるような気がします。

Q：文化教室の魅力はどんなことだと思われませんか。

A：茶道を知っていただけることは意義のあることですが、所作のひとつひとつに深い意味があることを理解していただくのは、短時間では難しいです。今後もより深い理解のために、時間を作ってもらえたらうれしいです。

Q：今まで教えられた中で、思い出深いエピソードなどありましたら教えてください。

A：茶道とは、ただ湯を沸かし茶を点てるだけのことですが、その基には合理性と科学的な洞察があります。アインシュタインが、灰手前で湿った灰をまくのを見て、物理の原理に基づく叡智に感心したそうです。これを聞き、日本人として誇りさえ感じました。

Q：茶道に関するおすすめの本や、サイトがあれば教えてください。

WEB：裏千家 今日庵 <http://www.urasenke.or.jp>

当日のアシスタントを務められた日本人学生からお聞きしました。

Q：難しいと感じた点はどんなことでしたか。

A：日本人にとっても馴染みのない言葉や所作を、どのように説明したら誤解なく伝わるかということです。

Q：おもしろい、興味深と感じた点はどんなことですか。

A：薄茶を点てる体験をしていただく時、全員がうれしそうにやってくれたことが、とてもうれしく、印象深かったです。

Q：参加者の様子をご覧になって、どんな感想を持たれましたか。

A：限られた時間でしたが、茶道に触れてその良さを感じていただけたと思います。

とうじつ ようす  
当日の様子

当日の様子

1



さどう れきし などについて説明  
してくださいます。

2



てまえ かいせつ  
お点前を解説してくださいます。

4



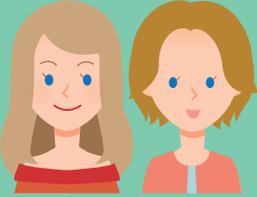
こんど じぶん た  
今度は自分で点ててみます。

3



さほう にならって、お茶をいただきます

さんかしゃ こえ  
参加者の声



- さどうきょうしつ さんか きかい  
茶道教室に参加する機会  
があつてとても嬉しかつ  
たです。
- たの  
楽しかったです。ありが  
とうございます。
- はじ  
初めての茶道体験ですご  
く楽しかったです！



とてもたの  
しみました。お茶とお菓子も  
おいしいさどうぶ かた いっしょ  
美味しそうです。茶道部の方と一緒の  
話はたの  
しみしかったです。



みなさんといろ  
いろな こと しゃべ  
る こと、茶  
道について学ぶのは楽しかった！あ  
りがとうございました。



きょう たいけん はすごく たの  
しみ ました。今日  
の体験はすごく楽しかったです。  
抹茶とお菓子を美味しく食べたり、  
にほんじん みなさんに優しく案内して  
いた  
ただいたりすることができて、あり  
がたいです。次回もさどうきょうしつ さんか  
できることを楽しみにしています。



にほん さどう について みなさんがとても ていねい おし  
やく えて くださ ったし、  
お茶やお菓子もすごく美味しかったです。直接お茶を作る体験がで  
きたのも楽しかったです！ありがとうございました。



# 歌舞伎勉強会

前期

## 歌舞伎勉強会

歌舞伎は日本の伝統演劇の一つで、1603年頃出雲大社の巫女・阿国が京都で念仏踊りを興行したのが初めとされています。

お茶の水女子大学は、年に一回（6月頃）、留学生向けの歌舞伎鑑賞教室があります。そこで国際教育センターでは、その歌舞伎鑑賞教室をより楽しめるよう、事前に歌舞伎勉強会を開いています。勉強会は、鑑賞教室に行かない学生でも参加できるので、たくさんの学生でにぎわいます。

ビデオを見ながら、歌舞伎の歴史や鑑賞のしかた、そして鑑賞教室の演目について、登場人物やあらすじなどを勉強します。初心者にとって歌舞伎のことを知るよい機会となっています。



### 参加者の声



歌舞伎について全く知らなかったので勉強になりました。意外と面白そうと思ったので、歌舞伎を鑑賞するのがより楽しみになりました。ありがとうございました。



事前学習を受けたことで、歌舞伎を見るのにもっとワクワクになりました。



説明に画像やビデオも含まれていたことで、歌舞伎がどのようなものか想像しやすかったです。

# 日本語カリグラフィー教室

後期

## 日本語カリグラフィー教室

日本語カリグラフィー教室では、筆ペンで日本語を書いたり、絵を描いたりすることで、日本文化を体験します。参加者には、日本人学生もいるので、日本人学生と交流でき、友達作りの機会を得ることにより、より身近に日本、そして日本文化を感じることができます。

### 参加者の声



日本人学生さんとの友達作りにいい機会でした。楽しかったです。（留学生）



絵を描きながらみんなと話すのは楽しかったです。もっと説明があったら嬉しいです。（留学生）



日本の文化について考える機会になりました。（日本人）



普段なかなか交流することのない留学生と話すことができ楽しかったです。（日本人）



## まんが教室

日本は漫画とアニメーションがとても発達した国です。多くの留学生が日本の漫画とアニメーションを通して日本に興味を持ち始めます。

国際教育センターでは、2018年度前期から新たにまんが教室を始めました。漫画研究会の部員と一緒に好きなキャラクターを描きながら楽しい時間を過ごしました。



### 参加者の声

たくさんのマンガ好きな人に会えてうれしかったです！

想像より難しかったけど楽しかった！みんなプロの漫画家みたいで驚きました。

スクリーンター作業という珍しい経験ができてとても貴重な時間だったと思います。

# まんが教室・お箏教室

後期

## お箏教室

お箏は日本の伝統的な楽器で、千年以上前に中国から伝わり日本の風土にあわせて独自に進化しました。「源氏物語」などの古典文学作品にも登場します。生田流と山田流に分かれていて、爪の形や弾き方が異なります。

国際教育センターでは2015年度後期からお箏教室を始めました。部員のみなさんが「飛躍」や「三段の調」などの演奏を聞かせてくださったり、みんなで「さくら」を演奏したりしました。



### 当日の様子



箏曲部の方が参加者たちにお箏を教えています。

参加者たちは箏曲部の部員と一緒にお箏の演奏をしています。

### 参加者の声

元々お箏に興味があったので、このような機会があってすごく嬉しかったです。お陰様でとても楽しい時間でした。ありがとうございます！

普段は楽器など弾けませんが、今日は箏を弾いてみる挑戦ができてとてもよかったです。難しい部分もありましたが、箏曲部の方が親切に教えてくれました。ありがとうございました！

# 香道教室

## 香道教室

香道は、茶道・華道とならぶ日本の三大芸道のひとつです。国際教育センターの香道教室では、日本文化の中での香道の歴史に触れたり、実際に香りを聞いたり、匂袋を作成したりして、香道の魅力を学ぶことができます。



前期



講師 嶋田華子先生

### ●プロフィール

お茶の水女子大学卒業、東京大学大学院修士課程修了。

カルチャー教室や学校の伝統文化体験授業などを通じて、御家流香道の普及に努める。

また美術史家として、国内外の美術館にて展覧会の企画運営、テレビ出演、雑誌・新聞の記事執筆多数。

HP: [www.haginosono.com](http://www.haginosono.com)

### ★講師の先生にインタビューしました！

Q：先生が香道を始められたきっかけは何ですか。

A：御家流香道宗家・三條西堯山を曾祖父に持ち、10代から祖母の香道教室の準備を手伝っていました。大学生になり、現宗家のお稽古に通い始めました。卒業論文では、上代・中古の香と服飾文化の関わりをテーマにしました。

Q：香道の魅力を一言で表すと何ですか。

A：素晴らしい香りを聞くことで、心身が休まると同時に、嗅覚に意識が集中するので、感覚が研ぎ澄まされるところが魅力です。メンタルヘルスを整えるだけではなく、古式ゆかしい香道具に触れたり、その日の組香のテーマになっている和歌や銘など、美しい日本語の語彙を増やすことができるのも楽しみです。

Q：教えてみて楽しいと感じる点がありますか。

A：初めて体験される方から、お香って面白いですね、と興味を持って頂けると嬉しいです。また年齢やバックグラウンドが異なるメンバーでも、同じ香炉を囲んで豊かな時間をシェアできるのが楽しいですね。

Q：お茶大の学生へメッセージをお願いします。

A：緑あふれるキャンパスで過ごす時間を楽しんでください！他大学ではオフィスビルのような建物のところも多いですし、社会人になると四季の移ろいを感じる機会が少なくなるため、お茶大の豊かな自然はとても貴重です。幼稚園の大銀杏や蓬、徽音堂前の金木犀、もう整備されてしまいましたが学生課前のイタドリ広場をはじめ、帰り道に落ちていた桑の実の鮮やかさなど、今でも懐かしく思い出します。

## 当日の様子



香道の歴史と伝統について学びます。



匂袋を作ってみました。



実際に香りを聞いてみます。

# 当日の様子

## 参加者の声



とても興味深かったです！先生は優しく、教え方が良かったです。  
いい匂いいろいろ味わえて素晴らしくて嬉しかったです。

香道について何も知らなかったから、文化教室を通じて薫りの種類やイメージ、  
香道の歴史的流れを理解できて嬉しかったです。華子先生がゆっくりと説明して  
くれて、異なる薫りを自分の言葉で感想を言わせるのも良い体験だと思います。



日本の香道を体験できて、とても有意義な時間でした。自分で色々な香りをブレンドして匂袋を作れたのも素敵でした。このような機会をいただきありがとうございます！

# 外国人ネイティブと学ぶ外国語講座

## 外国人ネイティブと学ぶ外国語講座

お茶の水女子大学には、約200人の留学生が在籍しています。そこで国際教育センターでは、①国際的人材の育成、②留学生と日本人学生との交流、③留学生の社会貢献の場の提供を目的とし、2002年より、前期と後期に「外国人ネイティブと学ぶ外国語講座」を開催しています。昼休みを利用し、発音や挨拶、簡単な日常会話などを学びます。参加者のみなさんにとって、外国語の学習のみならず、異なる言語や文化、考え方や価値観の理解を深めるよい機会になっており、また講師を務める留学生のみなさんにとっても、日本での貴重な経験となっているようです。

2023年度後期は「イタリア語講座」を実施しました。



### 参加者の声



イタリア語に触れることじたい初めてだったのですが、まず難しい発音、英語ともまた違う読み方、単語など新しい知識がたくさん増えました。もともとイタリアという国に興味がありましたが、さらに行ってみたいという思いが強くなりました。イタリアの文化(クリスマスなど)も知ることができ本当に楽しい時間でした。

イタリアの文化についても教えていただけるので、イタリアの文化に興味を持つようになり、イタリアに行ってみたくなっています。説明が分かりやすく、会話の練習もできるのでとても楽しいです。貴重な機会をありがとうございます。



### 講師の声



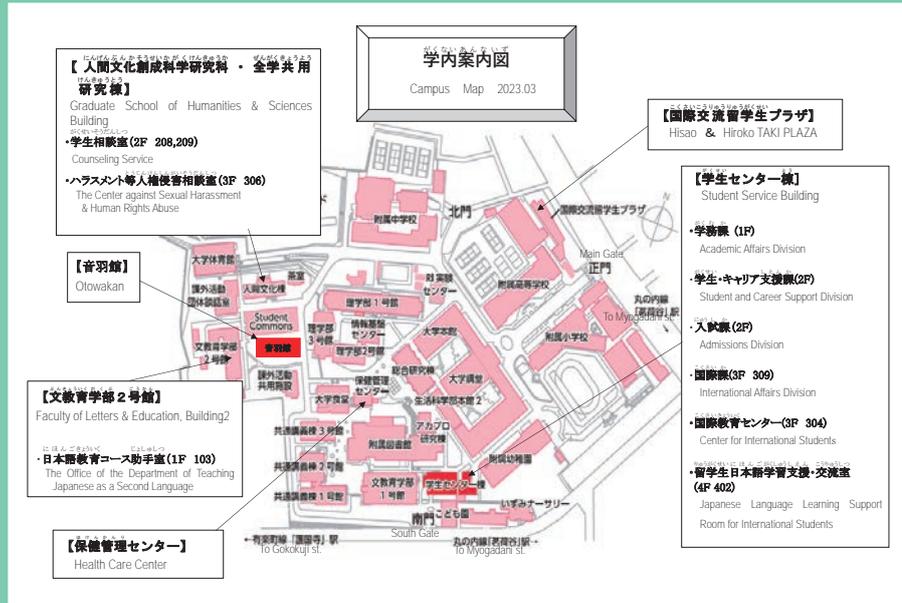
イタリア語を教えることになってとても良かったです。この機会には、深く感謝します。日本人のお茶大生が皆さん優しいですから、毎週の木曜日にはいつも楽しんでいきます。いつも熱心に授業に取り組んでいて、授業態度も大変よく、いつも感心しています。そのお陰で、皆さんにもっと教えたくなりました！  
今学期、参加して下さった学生の皆さん、そしてこの機会を与えて下さったお茶大と先生方に感謝しています。ありがとうございます！

# ねんかん 年間 スケジュール

	ぶんかきょうしつ 文化教室	がいこくごこうざ 外国語講座	こうかいこうえんかい 公開講演会
5 がつ May	<ul style="list-style-type: none"> <li>● まんがきょうしつ 漫画教室</li> <li>● きものきょうしつ きもの教室</li> <li>● しょどうきょうしつ 書道教室</li> </ul>		
6 がつ June	<ul style="list-style-type: none"> <li>● いばなきょうしつ 生け花教室</li> <li>● かぶきべんきょうかい 歌舞伎勉強会</li> <li>● ゆかたきょうしつ ゆかた教室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● ぜんきがいこくごこうざ 前期外国語講座 (5月～7月)</li> </ul>	
7 がつ July	<ul style="list-style-type: none"> <li>● さどうきょうしつ 茶道教室</li> </ul>		
10 がつ October			
11 がつ November	<ul style="list-style-type: none"> <li>● こうどうきょうしつ 香道教室</li> <li>● きものきょうしつ きもの教室</li> <li>● かりぐらふぃーきょうしつ カリグラフィー教室</li> </ul>		
12 がつ December	<ul style="list-style-type: none"> <li>● いばなきょうしつ 生け花教室</li> <li>● こときょうしつ お箏教室</li> <li>● きものきょうしつ きもの教室</li> <li>● さどうきょうしつ 茶道教室</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>● こうきがいこくごこうざ 後期外国語講座 (11月～1月)</li> </ul>	
1 がつ January			<ul style="list-style-type: none"> <li>● こうかいこうえんかい 公開講演会</li> <li>● こくさいがくせい 国際学生シンポジウム</li> </ul>
2 がつ February			

※開催スケジュールは、ねんど 年度によって かいさい 開催の時期が異なります。

# こくさいきょういく しょうかい 国際教育センターの紹介



こくさいきょういく ねん  
国際教育センターは、2001年  
がつ がくないきょうどうきょういくけんきゅうしせつ  
4月に学内共同教育研究施設とし  
せっち  
て設置されました。

センターのこくさいきょういく りゅうがくせい  
国際教育（留学生  
うけいれ ぶもん  
受け入れ）部門では、① だいがくいん  
大学院  
にゅうがくまえ よび きょういく がくぶ  
入学前の予備教育、② 学部・  
だいがくいん まな りゅうがくせい たい  
大学院で学ぶ留学生に対する  
にほんご にほんぶんか きょういく  
日本語・日本文化教育、  
りゅうがくせい きょういくけんきゅう しどう  
③ 留学生の教育研究の指導や  
しゃかいせいかつじょう なや たい じよげん  
社会生活上の悩みに対する助言  
など、受け入れから帰国までの  
いっかん きょういく しどう えんじょ  
一貫した教育指導援助、  
にほんじんがくせい そうごこうりゅうたいせい  
④ 日本人学生との相互交流体制  
こうちく おこな  
の構築を行っています。

## こくさいきょういく 国際教育センター・ホームページ

<https://www.cf.ocha.ac.jp/gec-in/>

## ぶんかきょうしつ 文化教室

[https://www.cf.ocha.ac.jp/gec-in/j/menu/events/cul\\_school.html](https://www.cf.ocha.ac.jp/gec-in/j/menu/events/cul_school.html)

## がいこくじん まな がいこくごうざ 外国人ネイティブと学ぶ外国語講座

[https://www.cf.ocha.ac.jp/gec-in/j/menu/cul\\_exchange/native.html](https://www.cf.ocha.ac.jp/gec-in/j/menu/cul_exchange/native.html)

## こうかいこうえんかい 公開講演会

[https://www.cf.ocha.ac.jp/gec-in/j/menu/cul\\_exchange/l\\_meeting.html](https://www.cf.ocha.ac.jp/gec-in/j/menu/cul_exchange/l_meeting.html)

## へんしゅうこうき 編集後記にかえて

こんかい さっし おお かた きょうりやく ささ ぶんかきょうしつ つづ あらた かん  
今回この冊子をまとめてみて、多くの方のご協力に支えられて文化教室が続いてきたことを改めて感じまし  
た。ぶんかきょうしつ ほっそくじ つね しえん せんせいがた こころ こ おし くだ ぶんか  
た。文化教室の発足時から、常に支援して下さるセンターの先生方、いつも心を込めて教えて下さる文化  
きょうしつ せんせいがた かた えいやく さんせいさん ことら おれいもう あ  
教室の先生方、アシスタントの方たち、英訳をつけてくださったアシスタントさんに心から御礼申し上げます。

こくさいきょういく い へすく りゅう やりん にわだ ゆみえ かない ようこ  
国際教育センター 李 惠淑 劉 椰林 庭田 由巳江 金井 陽子

はつ ぎょう  
発行：お茶の水女子大学国際教育センター

〒112-8610 東京都文京区大塚2-1-1  
お茶の水女子大学学生センター棟3階304  
TEL/FAX 03-5978-5965

せいほん いんさつ  
製本・印刷：ヨシミ工業株式会社

〒113-0033 東京都文京区本郷3-26-1 本郷宮田ビル3階  
TEL03-5802-5601 FAX 03-5802-5603